

2021年10月23日

大ホール・中ホール・レセプションホール
展示室ご利用の皆さまへ

小平市民文化会館(ルネこだいら)

新型コロナウイルス感染拡大防止のためのお願い(改訂版)

当館では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、施設利用者様にも下記の感染予防対策にご協力をお願いしています。なお、ご使用に当たって、特に3密(密閉空間、密集場所、密接場面)や飛沫感染を避けるための方策や工夫を事前にご検討ください。

また、当館では、政府及び東京都の方針や対応等に基づき、ホール(大・中ホール、レセプションホール、展示室)の定員の上限を設定しています。

つきましては、下記及び別紙チェックリストに記載された事項を遵守のうえ、ご利用いただきますようお願いいたします。別紙チェックリストにつきましては、貸出当日に窓口にご提出ください。

記

1 主催者、出演者に関する感染防止対策

(1) 公演を企画するにあたって、利用可能人数を踏まえ、密集を回避する方策や密な状況を発生させないよう工夫を検討してください。また、実施に際しては、業種別のガイドライン等を踏まえた感染防止策を講じてください。

例:開場・休憩時間の延長、大人数での来館の制限、入場時のチケットもぎりの仕方など

(2) 特に高齢者や持病のある方が多数来場すると見込まれる公演については、感染した場合の重症化リスクが高いことから、より慎重な対応を検討してください。

(3) 主催者、出演者の方も入館前もしくは入館時に検温してください。発熱(37.5℃以上)・風邪等の症状がある等体調がすぐれない方は、入場しないよう要請してください。

(4) 主催者、出演者は、公演時の出演者を除き、マスクを着用してください。

(5) 来場者の案内や誘導には、十分な間隔(1m)を取り、マスク着用に加え必要に応じてフェイスシールド等を着用してください。

(6) 機材や備品、用具等は、不特定者の共有を制限し、手指の消毒や手袋をするなど感染予防の対策をしてください。

(7) 仕込み、リハーサル・撤収等は、十分な時間を設定し、密な空間の防止、感染防止措置を講じてください。

(8) 使用した机や椅子等の備品、扉の取っ手や客席を使用した場合は客席のひじ掛け等を消毒したうえで、利用制限時間までに返却(原状回復)してください。消毒液等は、利用者様をご用意ください。当館でも利用後に消毒をしますがご協力ください。

- (9) ピアノは貸し出ししますが消毒ができませんので、演奏者には、演奏前に手指を消毒していただき、しっかりと乾燥させてから演奏してください。
※ピアノは消毒液で拭かないようお願いします。鍵盤表面のひび割れの原因になります。
- (10) 給湯室の茶器やポット、冷蔵庫等は、使用できません。給湯室の流し台のみ使用できます。(茶器等の持ち込みは可)また、シャワー室は、使用を中止します。
- (11) 出演者・関係者が楽屋や控室で飲食することができますが、取り分けせず、個別提供等の対策を取ってください。ただし、レセプションホールでの懇親会等での飲食は、当面の間できません。
- (12) 物販を行う場合、物販に関わる関係者は、マスクの着用に加え、必要に応じて手袋やフェイスシールド等を着用ください。また、多くの人に触れるようなサンプル品・見本品は取り扱わないでください。

2 ホール利用者、来場者の名簿の作成

主催者は、関係者及び来場者の氏名、連絡先を把握(名簿の作成等)し、一定期間(概ね1か月間)保管してください。万が一、感染者が発生した場合に、必要に応じて保健所等の公的機関に提供する旨を事前に周知してください。

3 主催者が用意するもの

- (1) 出入口に設置する手指の消毒液
 - (2) 使用した備品等を消毒する消毒液及び雑巾等
 - (3) チケットや物品販売等を行う場合は、必要になる感染予防用具(フェイスガード等)
- ※検温器は、当館で貸し出すこともできます。

4 主催者が行う来場者への感染防止対策

- (1) 来場前の検温の要請とともに、発熱(37.5℃以上)・風邪等の症状がある等体調がすぐれない方は、入場できないことを周知し、その際に来場者ができるだけ不利益を被らない対応策を講じてください。また、会場入場時にも主催者が検温を実施してください。
- (2) 会場内ではマスクを常時着用、咳エチケット、手洗い・手指の消毒の徹底をしてください。マスクを忘れた来場者等に対しては、配布や販売可能なマスクを準備してください。
- (3) パンフレット・チラシ・アンケート等は極力手渡しによる配布は避けてください。また、避けられない場合には手袋の着用を徹底してください。
- (4) 入場列やトイレの行列は、最低1m(できるだけ2mを目安に)の間隔を空けた整列を促す等、人が密集しないよう工夫してください。
- (5) 入場時のチケットのもぎりは、来場者が自身で半券を切って箱に入れ、目視で確認するなど人と接触しないようにしてください。
- (6) 客席の最前列は、原則使用禁止とし、舞台面から十分な距離(最低でも2m以上)を設けてください。(客席数を確保するため出演者が下がっても良い。)
- (7) 換気のための休憩時間は、余裕を持って設定してください。
- (8) 人と人との十分な間隔(最低1m、できれば2mを目安)や十分な座席の間隔(四方を空けた席配置等)を確保してください。
- (9) 会場内では、水分補給以外は、飲食できません。(客席は、飲食禁止です。)

- (10) 休憩時間や退場時の客席からの移動に際しては、券種やゾーンごとの時間差とし、滞留しないように工夫してください。

5 来場者への感染症対策の周知

- (1) マスク着用、咳エチケット、手洗い・手指の消毒の徹底を事前に周知してください。
- (2) 来場前の検温や体調が悪い場合等の来場を控えてもらうことを事前に周知してください。
- (3) 感染者が発生した場合に備え、連絡先等を記入した名簿を作成し、必要に応じて保健所等の公的機関に提供する旨を事前に周知してください。
- (4) 新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)等について公演チラシや会場等に掲載し、来場者に利用を促してください。
- (5) 場内では、人と人との十分な間隔(最低1m、できれば2mを目安)を確保することや会話を控えていただくよう周知してください。

6 利用可能人数

(1) 利用人数の制限

「別表:利用人数の制限」を厳守してください。

- ① 来場者による大声での歓声・声援等を行わないことを前提とした公演の場合、入退場時間をそれぞれ 1 時間以上設ける等の出入口が密集しない対策を実施できる場合は、別表のとおり利用人数を緩和します。
- ② 来場者による大声での歓声・声援等を行わないことを前提とした公演の場合、感染リスクが高まるような演出(声援を求め、ハイタッチをする等)はしないでください。
- ④ 来場者による大声での歓声・声援等を行わないことを前提とした公演の場合、来場者による大声での歓声・声援等を行わないことを徹底し、拍手のみとしてください。大声等を出す来場者がいた場合、個別に注意、対応等ができるような体制を整備してください。
- ⑤ 来場者が 1,000 人を超えるイベントについては、開催2週間前までに東京都への事前相談を行ってください。事前相談は、「東京都防災ホームページ」内にある「全国的又は大規模イベント開催事前相談シート」に必要事項を記載し、催し物のチラシ等を添付し、メールにて事前相談を行ってください。(詳しくは、東京都ホームページをご覧ください。なお、当館から事前相談が済んでいるかを確認する場合があります。)

【別表:利用人数の制限】

施設名	定員		利用可能人数 ※大声での歓声・ 声援等の可能性 があるイベント (50%以内)	利用可能人数 ※大声での歓声・ 声援等がない イベント
大ホール	1,229人	→	614人	1,197人
中ホール	401人	→	200人	385人
レセプションホール※				
コンサート形式	150人	→	50人	100人
会議形式	50人	→	24人	44人
教室形式	80人	→	40人	72人
パーティー形式	120人	→	40人	40人
展示室	定員なし	→	30人	定員なし

※ 大ホール・中ホールは、最前列1列は使用不可。

※ レセプションホールの利用可能人数は、催事の内容により人と人との距離が確保できない場合等では、利用可能人数を下回る人数でのご利用となることがあります。練習等で使用する場合は、緩和することはできません。

※ 展示室については、同時滞在の人数とします。

※ **利用可能人数は、関係者・スタッフを含めた人数です。**

※ 今後の人数制限等につきましては、政府、東京都の対応方針等を踏まえ、改めて決定します。
(決まり次第、ホームページに掲載します。)

〈参考〉楽屋・リハーサル室等の利用可能人数の目安

□ 大ホール

施設名	利用可能人数(目安)
大ホールリハーサル室	24人
楽屋1	1人
楽屋2	1人
楽屋3	5人
楽屋4	6人
楽屋5	5人
楽屋6	5人
主催者控室	4人

□ 中ホール

施設名	利用可能人数(目安)
中ホールリハーサル室	15人
楽屋1	4人
楽屋2	4人
楽屋3	5人
楽屋4	6人
主催者控室	2人

□ レセプションホール

施設名	利用可能人数(目安)
楽屋1	2人
楽屋2	2人
主催者控室	2人

※ この利用可能人数(目安)は、
同時滞在時の人数です。